

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（生活）						授業形態		
科目コード	750094	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	園田 修司								
授業概要	<p>○身近な人々・社会・自然及び自分自身を教材とする生活科について、そのねらいや内容などについて学び、生活科の概要と特色を学ぶ。</p> <p>○カリキュラムに関する基礎理論の学習を踏まえ、生活科のカリキュラム開発についての基本的な知識を理解し、教科の特色を生かしたカリキュラムを考える。</p> <p>○生活科の学びの在り方について学び、他教科並びに3年以上の授業への生かし方を学ぶ。</p> <p>○具体的な実践事例を紹介したり、実際に教材を作成させたりして、生活科の授業を構成するための教材の大切さを考える。</p> <p>○現場の教員による実際の授業に関する講義を通して、具体的な活動や体験を通じた探究的な学びの授業観を醸成し、教育現場で役立つ授業づくりにつなげる。</p> <p>○幼児教育と初等教育をつなぐスタートカリキュラムに対応した授業である。幼稚園や保育所と小学校の連携の在り方について、生活科の意義と役割との関連で講義を行う。</p>								
関連する科目	○ 保育・幼稚園教育に関する内容を受講しておくことが望ましい。また、小学校社会科、理科及び総合的な学習の時間を学ぶことが望ましい。								
授業の進め方 と方法	○ アクティブラーニング形式での授業を基本とし、学生自身が調べる活動、学生が発表する活動、さらには、グループで話し合ったり、体験したりする活動を取り入れる。								
授業計画 【第1回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科設定の意義と歴史 ○ 生活科の目標 <p>生活科がどのような背景で誕生したかを知り、生活科の教科目標を知ることで生活科の特色を学ぶ。</p>								
授業計画 【第2回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科の目標、学年の目標 <p>生活科は、教科の目標と学年の目標があること、そしてそれらの内容について詳しく講義し、生活科の特色を学ぶ。</p>								
授業計画 【第3回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科の内容 <p>生活科の内容は、どのような内容で構成されているか学ぶ。</p>								
授業計画 【第4回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間指導計画の配列等 ○ 指導計画の作成上の配慮事項 <p>生活科の教科書で、単元がどのように配列されているか、そこにはどのような特色があるか学ぶ。</p>								
授業計画 【第5回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導の特質、学習指導の進め方 <p>生活科の特色である「児童の思いや願いを生かすこと」「具体的な活動や体験」「児童の気付き」をどのように生活科の授業で取り入れていくかを学ぶ</p>								
授業計画 【第6回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 模擬授業の進め方 ○ グループで模擬授業の学習指導計画の作成① <p>模擬授業の進め方について説明した後、グループごとに模擬授業の単元を決定し、指導計画を作成する。</p>								
授業計画 【第7回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活科の授業の実際（現役教員の生活科の授業の講義） <p>三股小学校指導教諭 能勢先生の実践を学ぶことを通して、生活科での子供の様子や授業の留意点を学び、生活科の面白さを知る。</p>								
授業計画 【第8回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで模擬授業の学習指導計画の作成② <p>グループごとに、一つの単元の1時間の授業計画を作成する。お互いに模擬授業の在り方について考えを出し合うことで協動的に学び合うことのよさを学ぶ。</p>								
授業計画 【第9回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで模擬授業の学習指導計画の作成③ <p>グループごとに、一つの単元の1時間の授業計画を作成する。お互いに模擬授業の在り方について考えを出し合うことで協動的に学び合うことのよさを学ぶ。</p>								
授業計画 【第10回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 模擬授業の実際① <p>グループごとに模擬授業を見せ合い、模擬授業の良かったところ、工夫しているところ、改善したいところなどを出し合い、生活科の授業について学ぶ。</p>								
授業計画 【第11回】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 模擬授業の実際② <p>グループごとに模擬授業を見せ合い、模擬授業の良かったところ、工夫しているところ、改善したいところなどを出し合い、生活科の授業について学ぶ。</p>								

授業計画 【第12回】	○ 指導計画作成上の配慮事項 児童の実態や地域の特性等を考慮し、児童が主体的に学習に取り組むためのカリキュラム・マネジメントを学ぶ
授業計画 【第13回】	○ 単元計画の作成 一つの単元の計画を作成する上で、生活科の特色を生かし、創意工夫した計画を作成する大切さを学ぶ。
授業計画 【第14回】	○ 年間指導計画の作成 生活科の特色を考えて生活科の年間指導計画を作成及び配列の在り方を学ぶ。
授業計画 【第15回】	○ 幼稚園・保育所と小学校との連携 スタートカリキュラムをはじめとする幼児期の教育との関連を学習する。
授業の到達目標	1 小学校低学年に新しい教科「生活科」が導入された経緯や意図を基に、生活科の目標や指導内容、指導方法等に関する基本的な事項を理解すること。【知識・理解】 2 生活科の特色を知り、生活科の授業の概要を理解すること。【知識・理解】 3 簡単な模擬授業を実施することで、生活科の授業の特色である、児童の思いや願いを生かすこと、児童が主体的に活動することを学ぶこと。【思考力・判断力】 4 教育者として求められる資質や能力を学ぶとともに、教育者としての自覚及び意欲を身に付けるようにすること。【教員としての資質・能力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学修 【予習】	○ 次回の講義内容を把握する。(30分程度)
授業時間外の学修 【復習】	○ 授業後には、授業で活用した資料の原文を確認すること。(30分程度) ○ 授業終了後に示す課題についてレポートを作成する。(1時間程度) ○ 授業の開始時に前回の授業内容に関する小テストを実施する。(30分程度)
課題に対する フィードバック	○ 小テストは評価後、返却及び解説をする。 ○ 定期試験は試験後に解説をする。
評価方法・基準	○ 以下の項目に基づいて評価する。 (1) 小テスト等(30点) (2) 定期試験(70点)
テキスト	○ 小学校学習指導要領解説 生活
参考書	○ 小学校学習指導要領 ○ 小学校教科書 生活 その他、必要に応じた図書を紹介
備考	